

# 平成28年度 胎内市社会科部 活動報告

部長 菊地 康裕

## 1 研究主題

### 社会的思考力を高める授業の在り方

#### ～ 胎内市の授業モデルを活用して ～

## 2 研究内容の概要

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 胎内市立中条小学校 16:00～ 参加者15人

(2) 第2回部会 「黒川郷土文化伝習館見学会」 会場 黒川郷土文化伝習館 胎内美術館  
14:00～ 参加者9人

① 講師 伊東 崇 様(胎内市教育委員会生涯学習課文化財係主任)

② 概要

黒川郷土文化伝習館では、胎内市の歴史について、古代の発掘資料を見学しながら、講師の伊藤様から説明を聞いた。昔の道具も数多く展示されており、古代から現代に至るまでの道具の変化の様子を見学することができた。



(3) 第3回部会 「授業研究会」 会場 胎内市立中条中学校 14:00～ 参加者12人

① 授業者 海老名 崇 教諭(胎内市立中条中学校)

② 指導者 中村 祐一 様(胎内市教育委員会 管理指導主事)

③ 単元名 第1学年「世界の動きと武家政治の始まり」

④ 概要

「承久の乱の時に、自分なら朝廷側と幕府側のどちらにつくか」を課題として、資料を基に自分の考えを説明する授業を提案した。参観者からは、資料提示の仕方やタイミング、どんな資料を使うのが有効なのかなどの意見が出された。生徒に自分の立場を明確にさせ、ファシリテーション形式によりグループでの話し合いをする提案性のある授業であった。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

地域巡検では、胎内市で実際に発掘された土器や先人の使っていた道具を見ながら胎内市の歴史について説明を聞くことができた。昔の道具を知る学習で大変有効な施設であり、会員は興味をもって参加することができた。

授業研究会では、小中学校の部員が資料の在り方やグループでの話し合いのさせ方について協議できたことは大変有意義であった。また、本時の授業についてだけでなく、社会科としての資料の在り方、必要性、出すタイミングなどについてご指導いただくことができた。部員の社会科授業を振り返るよい機会となった。

### (2) 課題

地域教材を生かしながら社会的思考力を高める授業を行うことができるよう、各学校の地域教材の単元開発を今後も計画し、単元指導計画に組み込んでいくことが大切である。